

## 魚沼市生涯学習センター機械警備業務委託仕様書

本業務委託は、魚沼市委託契約条項（令和４年魚沼市告示第１５９号。以下「委託契約条項」という。）及び本仕様書に従い実施するものとする。

### 1 目的

魚沼市生涯学習センターの秩序を維持し、火災、盗難及び破壊行為等あらゆる事故の発生を警戒し、防止することにより、財産の保全と安全を図り、魚沼市の業務の円滑な運営に寄与することを目的とする。

### 2 適用範囲

この仕様書は、魚沼市（以下「発注者」という。）において、警備業者（以下「受注者」という。）が受託する魚沼市生涯学習センターの機械警備業務委託に適用する。

### 3 業務内容

番 号：６生委第６３号

業 務 名：魚沼市生涯学習センター機械警備業務

履行期間：契約締結の日から令和１２年３月３１日まで

（機械警備業務は令和７年４月１日から令和１２年３月３１日までとし、その他は９に記載のとおりとする。）

履行場所：魚沼市小出島地内

### 4 業務項目

#### （１）警備対象施設

魚沼市生涯学習センター

（鉄骨造、４階建て、敷地面積４，６３３．３７㎡、延べ床面積３，６１３．６１㎡）

#### （２）警備方式

魚沼市生涯学習センター（以下「生涯学習センター」という。）の警備業務を機械警備により行うものとする。機械警備業務とは、警備業法第２条第４項第５号に定義されるもので、警備対象施設に設置した警備業務用機械装置（以下「警備装置」という。）が感知した信号を、受注者の基地局（以下「基地局」という。）に設置する機器へ送信し、その受信装置の表示により、警備員が当該施設へ急行し、警備業務に当たることをいう。

#### （３）機械警備業務

業務内容は次に掲げるものとする。

##### （ア）警備装置

警備装置の機能及び警戒区域は、次に掲げるものとする。

- ① 警戒区域は、生涯学習センターの館内とする。

- ② 空間内における発熱体や赤外線の遮断等を感知する機能
- ③ 火災発生を感知する機能
- ④ 庁舎内状況を常時撮影し、画像の確認及び保存できる機能
- ⑤ 機械装置及びセンサーの破壊、配線の切断等の異常を監視する機能
- ⑥ 警備の開始、解除の操作を行う機能（風除室3及び1階公民館事務室内操作）
- ⑦ 生涯学習センター内の電気錠の解錠及び開錠を行う機能
- ⑧ 基地局に異常等の信号を送信する機能
- ⑨ 使用回線の断線等障害を監視する機能
- ⑩ 使用回線障害時に、別回線等で本契約業務を継続できる機能

#### （イ）警備責任時間

原則として警備装置を開始（セット時）した時点より警備装置のセットが解除された時点までとする。ただし、前号（ア）のうち、その機能が常時対応する必要があるものについては、常時対応すること。

#### （ウ）業務内容

- ① 基地局において生涯学習センター内への侵入、破壊行為等不法行為の発生やその他異常を感知した場合は、警備員が施設へ急行し、施設の外部及び内部を点検し、異常の有無を確認する。なお、必要に応じて次の業務を行うものとする。
  - ・ 現場に応じた緊急措置
  - ・ 施設管理担当者への連絡、または報告書の提出
  - ・ 基地局への連絡
  - ・ 警察、消防署等への通報
- ② 警備装置が常に正常な機能を保持するよう管理するとともに、異常を発見した場合には、速やかに発注者に通報するものとする。
- ③ 警備装置の発報時にあつては、警備業法第43条の規定により定めた「新潟県警備業法施行規則第3条」即応体制の整備の基準に規定する時間を限度とし、現場に急行するものとする。

#### （４）警備装置の仕様及び留意事項

- ① 警備機器等及びこれに付随する一切の設備は受注者の所有に属する。
- ② 生涯学習センターへの入退館は正面出入口、北側出入口及び西側出入口の3箇所とする。
- ③ 警備装置の開始・解除はカードキーで行い、その数量については発注者・受注者双方協議のうえ、定めるものとする。なお、カードキーの初期設定及び職員の異動に伴うカードキーの設定変更等については、事案発生時に発注者の依頼により受注者で行うものとする。
- ④ 自動通報装置は、停電後、自家発電が稼働するまでの間を補完するバックアップ機能を有すること。
- ⑤ 火災信号は、既設の自動火災報知設備受信機盤より出力される火災一斉警報を、通信回線を使用し、基地局へ自動送信できるようにすること。

- ⑥ 生涯学習センターの改修等により、既設の警備装置の移設及び変更等の必要が生じた場合、発注者は事前に受注者へ通知するものとし、当該工事費は、発注者、受注者協議のうえ定めるものとする。

## 5 警備装置等の設置、取替、変更、撤去及び保守・点検

### (1) 設 置

- ① 本業務を行うために使用する通信回線については、受注者において設置し、設置及び通信に係る費用は受注者が負担する。
- ② 警備装置の設置費及び本業務に付随する諸経費は全て受注者の負担とする。ただし、警備に必要な機器類の電気使用料については、発注者の負担とする。
- ③ 警備装置設置箇所については、別紙図面等で確認し、設置にあたっては、魚沼市生涯学習センター建築工事受注者及び魚沼市生涯学習センター電気設備工事受注者と工程等を調整して行うこと。
- ④ 警備装置の設置の際には、他の設置機器に影響がないように留意することとし、影響が生じた場合、受注者の負担により速やかに修復を行うものとする。
- ⑤ 発注者の都合による増改築、模様替え、レイアウト等の変更を行う場合、原則として15日前までに文書により受注者に通知し、既存の警報機器の移動または変更等及び新たな機器の設置に関わる費用は、発注者、受注者協議のうえ定めるものとする。

### (2) 取替え

発注者は履行開始後、受注者の設置した警備装置について、本契約の警備内容に十分対応できないと判断した場合、受注者の負担により機器類の全て又は一部を取り替えさせることができる。

### (3) 変 更

受注者の都合により警備装置等の規格等に変更が生じた場合は、速やかに施設管理担当者と協議のうえで、受注者の負担により取り替えるものとする。

### (4) 撤 去

受注者は、履行期間終了後遅滞なく警備装置を撤去し、現状復旧するものとする。復旧の程度及びこれに要する費用は、発注者、受注者協議のうえ定めるものとする。ただし、経年劣化による損耗等は除く。

### (5) 保守・点検

受注者は、設置された警備装置の機能を保全するため、適宜保守・点検を行う。

## 6 警備装置の取扱説明

警備装置設置後は、速やかに発注者と日程等の調整を行い、適切な警備が遂行出来るよう市職員を対象とした取扱説明会を開催すること。

## 7 準備期間

契約締結の日から令和7年3月31日までを警備開始までの準備期間とし、この間に

発注者との警備機器類設置等に係る連絡調整、警備機器類の設置、取扱説明等を行うものとする。

## 8 損害賠償

受注者は警備実施中に受注者の過失により、発注者及び利用者（生涯学習センターを利用する全ての者）に損害を与えた場合、その全てについて受注者が損害賠償責任を負わなければならない。なお、賠償の限度額は、1事故につき、対人賠償、対物賠償、合わせて10億円とする。ただし、次の事項については免責とする。

- (1) 天災地変等その他不可抗力による場合。
- (2) 警備装置が正常に作動したにもかかわらず、受注者の責任とならない理由で通信が行われない状態にあったことによる場合。
- (3) 発注者の責任となる理由により、警備装置が正常に作動しなかった場合。

## 9 提出書類等

受注者は警備業務契約及び履行にあたり、警備業法第19条及び警備業法施行規則第33条に規定する書類を発注者へ提出することとする。

### (1) 業務計画書

警備業務実施に先立ち、発注者と協議のうえ業務計画を作成し、次の事項を記載すること。

- ① 本警備委託の履行に関して業務を統括する業務責任者名及び警備体制などがわかる緊急連絡系統図
- ② 警備装置の設置箇所、種類及び仕様、配置図等の警備計画
- ③ 基地局又は待機所から生涯学習センターまでの路程及び移動時間
- ④ その他施設管理担当者が指定した事項

### (2) 業務報告書

各月の警備業務の提供が完了したときは、様式第1号「警備業務月別結果報告書」を翌月の5日までに発注者に提出し、履行確認を受けること。

## 10 支払方法

委託料の支払いは、機械警備業務開始年度、令和7年4月1日からとする。

月払いとし、各月の業務終了報告及び検査合格後、適法な請求書を受理してから30日以内に支払う。

## 11 鍵の預託

警備上必要な鍵、カードキーは、発注者・受注者相互に預託するものとし、善良な注意をもって管理を行うものとする。なお、履行期間終了後については、双方とも速やかに返却を行うものとする。

## 12 代替警備

- (1) 受注者は、受注者の事情により機械警備が不能となったときには、発注者、受注者協議のうえ、その期間を定め、警備員による警備体制をとらなければならない。
- (2) 受注者及び発注者の責によらない不測の事情により機械警備が不能となったときには、発注者、受注者協議のうえ、その期間及び警備体制を定める。

## 13 再委託の禁止

受注者は本契約に基づく権利を第三者に譲渡し、又は警備業務を第三者に委託してはならない。

## 14 契約解除

発注者は受注者が次の各号の一に該当するときは、契約を解除することができる。

- (1) 正当な理由なく契約を履行しないとき。
- (2) 契約の締結又は履行につき不正行為があったとき。
- (3) 契約の履行にあたり、発注者の要請に従わなかったとき又は、その職務を妨害したとき。
- (4) 履行期間内に委託業務を完了する見込みがないとき。
- (5) その他契約条項に違反したとき。

## 15 長期継続契約の特記事項

長期継続契約に伴い、特記事項として次の各号のとおりとする。

- (1) 発注者は翌年度以降において、委託料に係る歳出予算の金額について減額又は削除があった場合、本契約を解除することができる。
- (2) 前項の規定により発注者が本契約を解除した場合において、発注者が翌年度以降の支払いを予定していた委託料を受注者は請求することはできない。
- (3) 受注者は(1)の規定により発注者が本契約を解除したために生じた損害の賠償について、発注者に請求することはできない。ただし、契約に係る履行期間等について双方協議することができる。

## 16 その他

この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。

様式第1号 「警備業務月別結果報告書」

様式第 1 号

年 月 日

魚沼市長 様

会社名

警備業務月別結果報告書 ( 年 月分)

魚沼市生涯学習センターの警備状況について下記のとおり報告します。

記

日	異常発生の有無	日	異常発生の有無
1	有 無	1 6	有 無
2	有 無	1 7	有 無
3	有 無	1 8	有 無
4	有 無	1 9	有 無
5	有 無	2 0	有 無
6	有 無	2 1	有 無
7	有 無	2 2	有 無
8	有 無	2 3	有 無
9	有 無	2 4	有 無
1 0	有 無	2 5	有 無
1 1	有 無	2 6	有 無
1 2	有 無	2 7	有 無
1 3	有 無	2 8	有 無
1 4	有 無	2 9	有 無
1 5	有 無	3 0	有 無
	有 無	3 1	有 無